

平成17年度決算収支概況

1. 収 入

(1) 基本財産運用収入

基本財産18億9,200万円を主に期間5年以内のユーロ円債や国債等の有価証券投資で運用し、基本財産運用収入は1,779万円（予算比21万円減）となったがほぼ予定通りであった。

(2) 寄付金収入

一般寄付金収入は、行員その他からの375万円（予算比75万円増）と（株）みずほフィナンシャルグループからの1,960万円（予算比同額）との合計2,335万円となり、予算比75万円の増加であった。

募金収入は予算通りの特別事業助成支出に見合う1,000万円である。

(3) 当期収入合計

上記収入に雑収入（運用財産の受取利息他）2万円（予算比同額）を含めた経常的な収入は5,116万円と予算比54万円の増加であった。

この経常的な収入に基本財産の満期到来に伴う特定預金取崩収入と固定資産（有価証券）売却収入の合計3億8,432万円を加えた当期収入合計は4億3,547万円となった。

2. 支 出

(1) 事業費

初等中等教育助成金支出は2,492万円（予算比8万円減／図書贈呈の誤差）となり、本年度事業は計画通りに実施された。

社会福祉助成金支出も事業助成の一部返戻があった等で予算比19万円減の2,481万円であった。

特別事業は予算通りの1,000万円の支出（みずほ号10台）となった。

その他助成は該当がなく、予算枠300万円は使用しなかった。

事業関連雑費合計193万円（予算比107万円減）を含めた事業費支出合計は6,166万円と予算比434万円の減少となった。

(2) 管理費

管理費は堅実な運営に努めた結果、予算比214万円減の346万円であった。

(3) 固定資産特別支出

固定資産取得支出（什器備品購入）23万円（予算比7万円減）はパソコン1台の購入である。

(4) 当期支出合計

予備費使用枠300万円の使用はなく、上記を合計した経常的な支出は予算比955万円減の6,535万円となった。

これに満期到来となった基本財産の同額再運用・投資である固定資産取得支出（預金、有価証券購入）の合計3億8,432万円ならびに公益事業基金積立支出7,000万円の合計4億5,432万円を加えた当期支出合計は5億1,967万円となる。

3. 収支差額

当期収入合計から当期支出合計を差し引いた当期収支差額は、8,420万円（予算比1,008万円減）の支出超過となった。

前期繰越収支差額1億1,690万円からこの支出超過額を控除した3,270万円を次期繰越収支差額として次年度に繰越計上する。

以 上